



力は弱さのうちに

牧会者パウロ 十字架の姿を生きる

ティモシー・G・ゴンビス 著
立木信恵 訳 後藤敏夫 監訳

復活の希望の上に築かれた十字架の姿に生きる共同体を目指す ダマスコ途上で復活のキリストに出会ったパウロは、強制と暴力から、「弱さ」を誇る牧会者へと変えられた。この弱さが神に祝福される共同体の鍵だった。世的な権力やビジネスモデルでなく、十字架の姿こそが教会を建て上げる原則であることを訴える。

四六判 280頁 定価2,420円(本体2,200円+税)
ISBN978-4-264-04588-5 C0016
いのちのことば社卸コード 14700

ティモシー・G・ゴンビス (Timothy G. Gombis)

シカゴ出身。セント・アンドリュース大学で博士号(Ph.D.)を取得。著書として、『エペソ人への手紙のドラマ——神の勝利への参与』、『パウロ——困惑している人たちのためのガイド』などがある。また『神の物語注解シリーズ』の「マルコの福音書」の巻を担当。現在、フラー神学校客員教授。